

地域おこし協力隊

ねまがり新聞

2025年春



令和7年4月より着任した新メンバー2名を紹介します。



上田倫未 うえだともみ 50歳 滋賀県から移住
京都府長岡京出身 / 前職 家電製造業

用の美、未来のライフスタイルを民芸でデザイン

前職パナソニックでは、TV・オーディオ・電子レンジ・携帯電話の商品企画15年、技術開発5年、デザイン2年の22年間、モノづくりに携わりました。お客様の生活を研究し、暮らしを快適にする商品を作ってきました。研究を通じて、環境に優しい商品を求めるお客様が世界規模で増えていると日々感じ、ついにはプラスチックではなく、自然素材でのモノづくりをしたいと決意した次第です。扱う素材は変われど、追及するのは同じく、用の美です。前職のノウハウを活用します。竹を用いた民芸は全国に存在しますが、津軽の地を選んだのは、岩木山への信仰と文化があったからです。未来のライフスタイルがここにあると感じました。いまだ自然災害と紛争の絶えない現代、厳しい自然と神仏と共生する生活の知恵には世界が注目するはずです。津軽竹かごの技能を承継しながらも、新しい価値をデザインし、地域振興に貢献します。

政本龍介 まさもとりゅうすけ 28歳 大分県から移住
大分県竹工芸訓練センター卒業 / 前職住宅関係

真竹より篠竹 篠竹よりスズ竹 スズ竹より根曲竹

竹細工を知るきっかけは住宅展示会の和室に飾られた花籠です。大分で竹工芸を学ぶうち、竹細工を生業にしようと思いを決意しました。冒頭の言葉は、竹工芸世界で伝わるもので、竹加工の難易度を示します。大分で学んだ真竹より難しい根曲がり竹を心機一転学び、両方の技術を合わせ、自分ならではのモノ作りに取り組みます。右記の写真は、岩木地区に来て初めて作った根曲がり竹のかごです。まだまだ技術的に未熟なところがありますが、これから岩木の竹かご技術・技能を学び、いろいろな方に作品を手にとってもらえるよう活動していきます。よろしくお願ひします。

